

保護者の皆様へ

学校保健委員会報告

R3.2.2 6郡山第三中学校

学校には、学校保健委員会という組織があります。この委員会は、学校医の先生方・PTA 会長さんの参加をいただき、生徒の健康の保持増進に関して話し合う委員会です。年間2回（7月・2月）に開催しております。

今年は、新型コロナウイルス感染症により休校措置がとられ、健康診断が2学期まで延長となった健診もあり、1学期に開催していた保健委員会が開催できず今回（2月19日）となってしまいました。

会議には、学校医の土屋先生と学校薬剤師の安藤先生の参加をいただき、本年度の健康診断結果や保健活動を報告し、次年度の計画について協議しました。

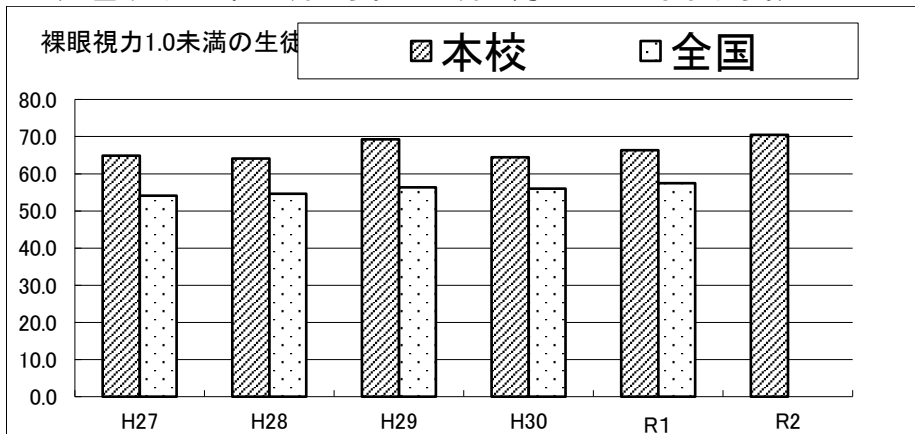
<協議内容>

1 本年度の保健活動の成果と課題

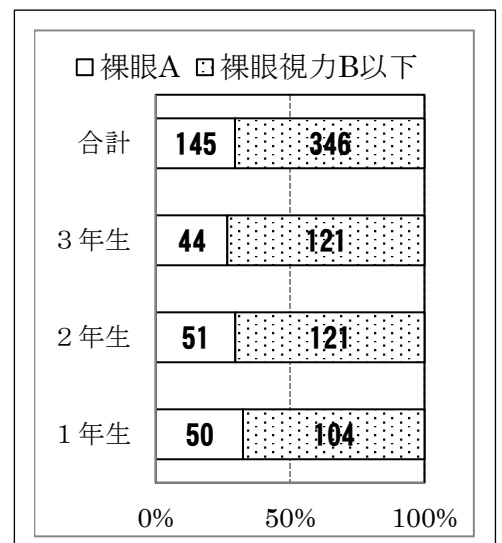
本校の健康診断結果から見えた課題は、「視力低下」「むし歯罹患」です。課題解決のためにご家庭の協力をお願いします。

<視力検査結果>

裸眼視力が1.0未満の生徒が70.5%もいました。
（全国平均57.5%です。13%も高いこととなります。）



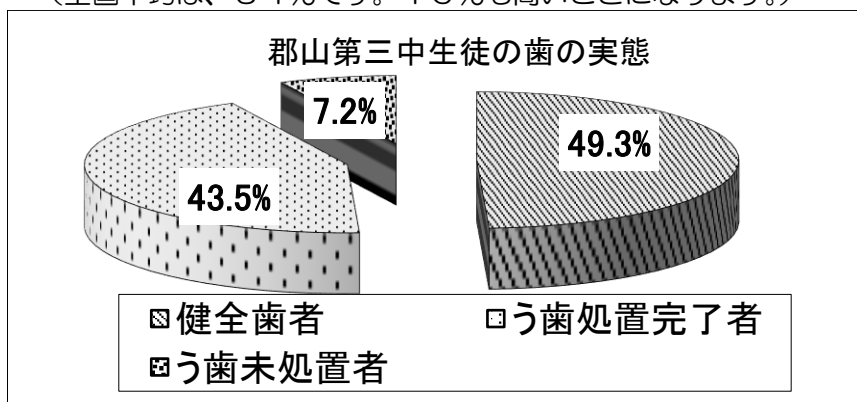
※ 学年進むにつれて、視力が悪くなっています。



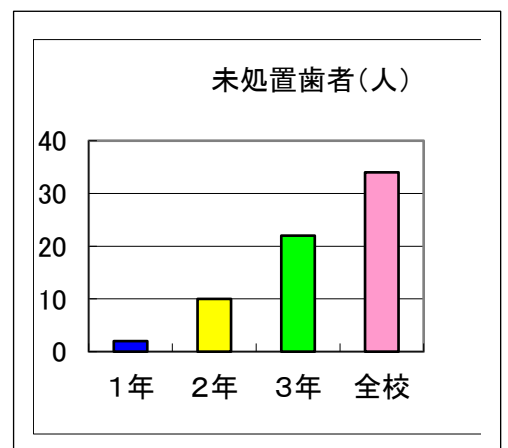
<歯科検診結果>

むし歯罹患率が、50.7%でした。未処置は、少ないのですが、治療した歯があると罹患した数に入れるため、罹患率は高くなります。

（全国平均は、34%です。16%も高いこととなります。）



※ 学年進むにつれて、未処置も多かったようです。



※視力低下の原因の一つは、眼精疲労です。できるだけ眼を休める生活を心がけてください。また、むし歯罹患については、むし歯を防ぐために歯磨きを丁寧にすることです。罹ってしまったら、早期治療を!!

2 新型コロナ感染症の予防について

新しい生活様式がはじまり、保護者の皆様のご理解とご協力のもと学校教育活動ができていますことに感謝申し上げます。

本年度は、各係より、下の様な反省があげられました。

<保健面>

- ・健康診断においては、ソーシャルディスタンスを心がけ、実施する際の待機や健診会場への入室などに気を付けて実施した。
- ・朝の健康観察を実施してから、体調が悪く来室する生徒が少なくなった。
- ・出席停止が例年よりも多かった。

<食育>

- ・感染予防のために、机の消毒や手指消毒を徹底し、会食形式での給食を停止するなどした。
- ・家庭科では、調理実習の試食の際に衝立を立てて、感染予防対策をしながら試食した。

<体育>

- ・接触を伴うような単元が実施できずに、他の種目と変更するなどの対応をした。密になりやすい種目もあり、予防対策をしながら実施した。

<生徒指導>

- ・ソーシャルディスタンスについては、物理的に難しいことが多く、できる範囲で指導をした。
- ・休校等もあり、インターネット使用時間が増加し、ネット依存やゲーム依存の生徒が増加傾向にある。
- ・コロナの影響は、家庭生活にも影響し、精神状態が不安定になっている生徒も見られる。

<教育相談>

年度当初は、コロナ不安による欠席もあったが、現在は不安を訴えて欠席する生徒はいない。

- ※ **休校後のネット依存や生活リズムの乱れが心配されています。お子様の携帯使用やネット使用について、家族で使い方の確認をしてみてくださいか？**
依存症になると、自分の意志だけではやめられません。昼夜逆転現象がおきたり、授業中に眠くて学習に集中できずいたり、身体面に影響が出ているお子様もいます。

3 次年度の計画

- ・新型コロナ感染症の予防対策をしながらの教育活動を進めていく。
- ・学校行事等においては、4月に実施していた修学旅行は、感染状況を見ながら2学期に実施する。
- ・入学式や卒業式については、感染状況を視野におき、予防対策を行いながら実施する。

- ※ **卒業式に参加される場合や入学式に参加される場合には、2週間前から健康観察等をしていただき、体調を確認した上でのご参加をお願いします。**

4 指導助言

<学校医 土屋先生から>

- ・新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が開始されたが、具体的な方法についてはまだ示されていない。PCR検査は、現在は以前よりも手軽に受ける事ができる状況である。
- ・若い人達からもクラスターがでている。この頃では、高校でのクラスターが報道された。症状が出ない人もいるため、感染を拡げていることも考えられる。
- ・緊急事態宣言が出され、感染予防のために、不要不急の外出を控えるなどしているが、緊張がなくなってきている感もあるし、この様な生活に疲れてきている様子もある。気を緩めずに感染対策を引き続きお願いしたい。
- ・新型コロナウイルス感染予防のための新しい生活様式は、他の感染症予防にも効果を上げている。インフルエンザの罹患も例年よりも少ない状況である。
- ・新しい生活様式により、生徒同士の関係や心の面なども心配される。

<薬剤師 安藤先生から >

- ・二酸化炭素濃度を測定したところ、基準値以下であった。換気が徹底されている。
- ・感染症の予防には、手をよく洗うことやアルコールでの消毒をすることが大切である。しっかりすり込むように手指を消毒することが大切。
- ・卒業式や入学式については、検温や体調チェックなど健康観察をしっかり行い、感染予防対策をしっかり行うことが大切である。



- ※ **家族感染も多くなってきています。どうか、ご家族でも「新しい生活様式」に準じた感染予防をお願いします。**